

日本の算数教育現場から学ぶ

～アフリカ諸国からの JICA 研修員 9 名が函館小学校で実習～

JICA 北海道(札幌)が実施している課題別研修「児童の学び改善のための初等算数教授法」は、国立大学法人北海道教育大学と日本国際協力センターの協力のもと、小学校の算数科授業の質向上を目指し、児童中心の課題解決型授業の作り方を指導案や教材の作成、模擬授業の実施を通じて実践的に学びます。今年はコートジボワール、トーゴ、マダガスカル、モロッコ、セネガル、ブルキナファソから 9 名の研修員が来日し研修を実施しています。2月13日から約2週間、北海道教育大学附属函館小学校にて実習を行いますので、本研修の取材をぜひご検討ください。

<研修の主なスケジュール>

2月21日(水)10:00～12:00 JICA 研修員の授業実践、研究協議

2月22日(木)10:00～12:00 JICA 研修員の授業実践、附属小学校児童とのお別れ会

場所：北海道教育大学附属函館小学校(北海道函館市美原3丁目48-6)

内容：研修員が小学4年生に対し、授業を行います。授業実践の時間は、毎日同じ時間帯で **10時25分～11時10分**です。(通訳含めて)授業者は、各グループの代表として、1人で授業を行います。



【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 研修業務課 シンジェー ボロルチメグ
TEL011-866-8393 e-mail : Shinjee.Bolorchimeg@jica.go.jp